

立憲民主党

号外

令和元年8月発行  
地域版(中川区)  
立憲民主編集部  
〒102-0093 東京都千代田区  
平河町2-12-4 ふじビル3F  
TEL 03-6811-2301

# 久野美穂

名古屋市議員

〒454-0835 名古屋市中川区八家町3-16 TEL 052-364-8812 <https://kunomiho.com>  
発行: 久の美穂を支える会、名古屋民主市議員団

## 松葉公園の駐車場拡充へ



6月議会本会議で質問する久野美穂

「松葉公園の駐車場が足りなくて困っている」と、利用者の方から苦情をお聞きしました。松葉公園は中川区の一等地にあり、昭和16年に開園しました。野球場やテニスコート、池などを備えた緑豊かな公園で、区民に愛され広く利用されています。

この公園の一角に、フェンスに囲まれた中川土木事務所分所と、剪定された山積みになった枯れ木置き場があります。現地に土木事務所の職員と出向き、調べてみました。分所は無人で、室内には期限の切れた書類の段ボール箱が積み重ね、多くの机や椅子が放置されています。

### 市の回答

## 物置きと化した分所整備 山積み枯れ木置き場撤去

久野美穂は名古屋市長6月議会で、初めて本会議質問を行いました。地域の方々の悩みをお聞きし、現地に何度も行き調べた「松葉公園の狭い駐車場」と「戸田地区の危険な生活道路Ⅱ中面」の二つの問題について、市の対応を質しました。



【上】物置きと化した中川土木事務所分所と枯れ木置き場  
【左】分所内の段ボール箱

## 久野美穂 6月議会で市の対応質す

松葉公園に、こんな無駄な場所があつていいの。駐車場が足りないという市民の苦情を、市側は知っているのか。役割の終わった分所や枯れ木置き場を整理すれば、市民の望む駐車場はできるはず。久野美穂は6月議会で、市有財産の有効活用という点から、今後の対応を問い質しました。市は今後、枯れ木置き場を撤去し、土木事務所分所についても整備することを表明。地域住民の要望に、しっかりと対応することを約束しました。市会議員になって、皆様からいただいたご相談を現地で調べ、お役に立てたことを光栄に思っています。

### 2019年名古屋市議選 開票結果

1位	11,278	木下 優	公立
2位	9,623	久野 美穂	公立
3位	7,601	赤松 哲次	立自
4位	6,979	岡本 善博	自自
5位	5,899	浅井 正仁	自自
6位	5,059	中川 敦史	減共
7位	4,608	江上 博之	共

2019年4月8日



6月市議会で初めて本会議質問に臨む久野美穂

「久野美穂 通信」をお読みいただきありがとうございます。今後も、地域の皆様の不安や疑問の声、自ら調べ実感した思い、提案した対策や市の答弁・対応を詳しくお伝えしていきます。名古屋市中川区の諸問題を皆様と共有し、解決するきっかけとなればと願っております。初挑戦した4月の名古屋市長議員選挙では、9623票で2位当選させて頂きました。皆様から託された想いとご支援を胸に刻み、精一杯働いてまいります。

## 久野美穂 市議元年スタート



4月の名古屋市議選で応援演説をする亡き義父 久野浩平

市会議員として12期48年間お世話になりました義父 久野浩平が、6月27日に急逝いたしました。

生前賜りました長年に渡るご厚情に、心より御礼申し上げます。

## 初心忘れず

### 義父 浩平の遺志を継ぐ

久野浩平は中川区民のため、名古屋市政発展のために、誠心誠意尽くしてまいりました。

とにかく気軽に、腰も軽く、どなたでも笑顔で話す姿は忘れられません。

市会議員 久野浩平のモットーは“初心忘れず”でした。私も義父の遺志を継ぎ、初心を忘れず、地域発展のためにしっかりと働いてまいります。

## 久の美穂を支える会 会員募集



入会のお申し込み・お問い合わせは下記へ

郵便：〒454-0835 名古屋市中川区八家町3-16

電話：052-364-8812 ファックス：052-354-0031

ホームページ：<https://kunomiho.com>

ホームページを  
ご覧いただけます



# 生活道路の危険性訴える

## 戸田地区 歩道幅わずか50cm、車道幅の一部は4m、脇をかすめて走る車

公共交通機関が他区と比べて不便な中川区は、車に頼らざるを得ない地域でもあります。幅の狭い生活道路でも、多くの車が行き交います。区内のどこにも見かけられる危険な生活道路が、戸田地区にもあります。市は実情を知っているのか。具体的な対策を考えているのか。「安心・安全」という視点から、久野美穂は6月議会本会議で問い質しました。

中川区の人口は22万人、市で2番目に多い区です。それなのに、なんと不便でなんと危険な所が多いのか。公共交通がとて貧弱で、地下鉄駅は「高畑駅」たった一つ。市バスは1時間に1本が珍しくありません。そんな車頼みの中川区の生活道路で、歩行者がとて怖い思いをしていると、地域の方から伺いました。

- ① 信号付き横断歩道設置
- ② 戸田川に歩行橋を新設
- ③ 川原にある砂利道整備

怖い」という地域の声をお聞きし、私は朝昼晩、雨の日も歩いてみました。歩道の幅もメジャーで測ってみました。車道幅が一部4mにも満たない道路が南北に並び、電信柱が立つ地点の歩道の幅は、わずか50cmです。車が絶え間なく行き交う。その横の白線だけで区切られた狭い歩道を、歩行者や自転車、譲り合いながら通っている。実際、歩いてみた私の横を、袖に触れる程の近さで車が通りすぎます。しかもかなりのスピードです。とても怖い。

生活道路を拡幅できない現状で、久野美穂は危険回避のために、3つの対策を市に提案しました。信号付き横断歩道警察と協力し努力

悲慘な交通事故が多発している今、市は名古屋の顔ともいえる幹線道路の交差点35か所に、防護柵を設置・整備すると素早く発表しました。ならば、自分で身を守るしか対策がない危険な生活道路にも、市はしっかりと目を向けていただきたい。

## 市に対策3提案ぬるい姿勢に喝



【上】車の横を注意しながら歩く生活道路の歩行者【左】川原の砂利道を歩く中学生たち



私は市側に実情を訴えました。後日、一緒に歩いた中川土木事務所の方もその怖さに驚いていました。この生活道路の危険性を、市は認識していたのか。今までどういった対策をとってきたのか、今

生活道路を拡幅できない現状で、久野美穂は危険回避のために、3つの対策を市に提案しました。第一は信号のある横断歩道の設置です。第二は横を流れる戸田川に歩行橋を新設。第三は戸田川に並行する砂利道の舗装整備の3案です。

中川区は公共交通や道路などハード面で、他区と比べて非常に遅れています。どの区の市民にも、公平な施策を行うことは当然です。戸田地区の危険な生活道路が、一日も早く安心安全な道路に変わるよう、今後も注目していきます。

## 歩道橋下に衝突注意看板

### 少し先に信号、急ぐ自転車住民の不安、市に訴え設置

国道1号線をまたぐ中川区十一番町交差点の歩道橋は、地域の方々が多く利用されています。この歩道橋は、地下鉄「六番町駅」に近く、南側の歩道は通学路。大きな昭和橋公園も、すぐ近くにありま

橋から歩道に降りてきた人や子が、自転車と衝突する危険性が高い。あわや!という状況を見た。なんとかならないかと、複数の方から相談されました。次の朝、現地に行き、歩道橋の横に立つてみま



確かに、少し先の信号を気にして急ぐ自転車や歩行者が多く、歩道橋から降りた区民や子どもたちは、左右を注意しながら歩いています。傘をさ

す雨の日はなおさら危険です。すぐ、中川土木事務所に危険性を訴え、せめて衝突注意看板を設置してほしいと要求しました。中川土木も納得し、素早く対応。5月末に注意看板が設置されました。また、すぐ横の昭和橋公園の中に、「飛び出すな」という看板も設置されました。地域の方々の身近な不安をお聞きし、すぐに調べて市に実情を訴える。皆様の不安解消のお手伝いできました。



国道1号線の十一番町交差点

歩道橋下に設置された衝突注意看板



本会議場でボードを掲げ質問する久野美穂